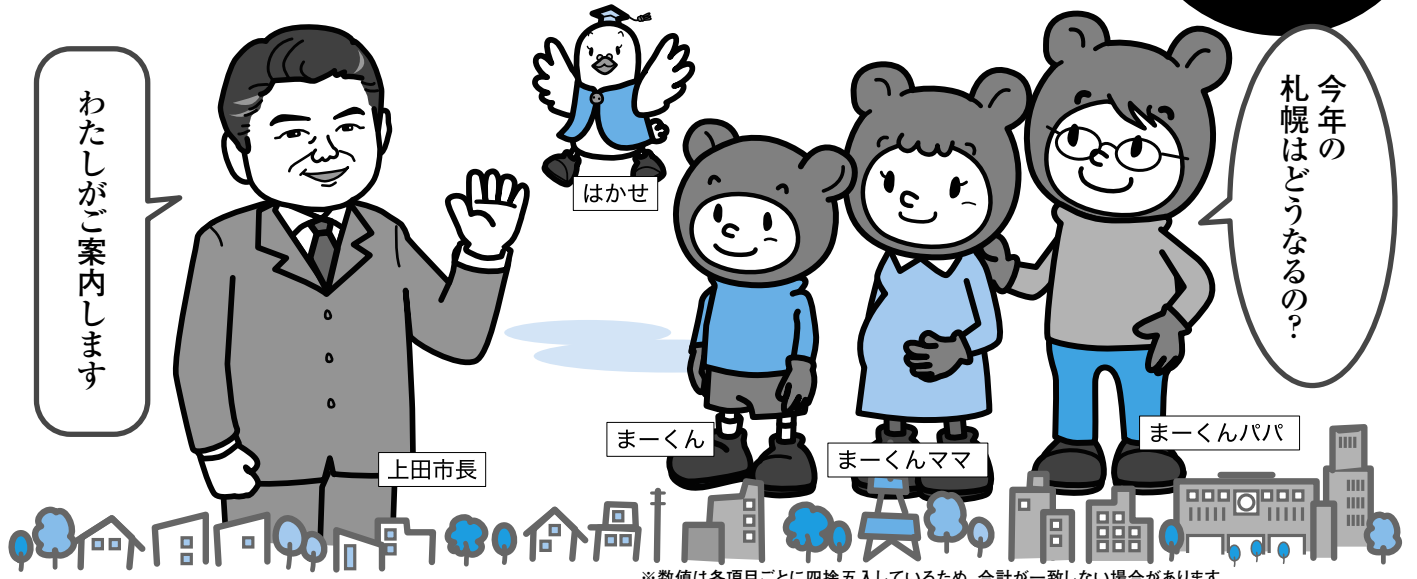


まーくんファミリーと見る 今年の札幌のまちづくり

平成21年度 予算

市の1年間のお金の使い方をまとめた21年度予算が、このたび完成しました。
厳しい経済状況が続く中、今回の予算で、札幌のまちづくりとわたしたちの生活はどのように変わのでしょうか。
まーくんファミリーと一緒に、予算の内容を見ていきましょう。

この特集に関するお問い合わせは財政課 ☎211-2212へ



わたしがご案内します

上田市長

はかせ

まーくん

まーくんママ

まーくんパパ

今年の札幌はどうなるの？

※数値は各項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります

21年度は、先の見えない経済危機への対策や、昨年6月に行った「環境首都・札幌」宣言に基づく取り組みなど、四つの分野に力を入れていきます

力を入れる四つの分野

経済・雇用、産業育成

環境

子供・子育て

福祉・医療

上田市長、21年度の札幌市はどんなことをするの？

予算づくりに当たっては、市民の皆さんからたくさんのご意見をいただきました。それらの意見を踏まえて決めた、今後1年間のお金の使い方を、次に紹介しましょう

まちづくりの基本となる三つの条例が整いました

19年4月施行
自治基本条例

20年4月施行
市民まちづくり活動促進条例

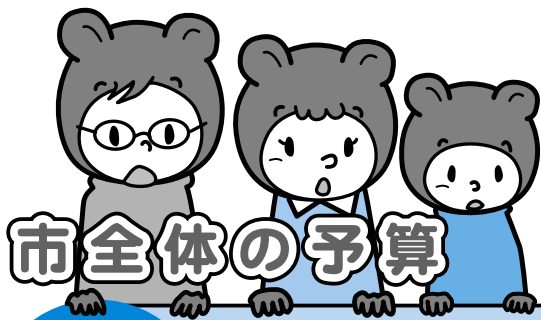
21年4月施行
子どもの権利条例※

市民自治 + 子供

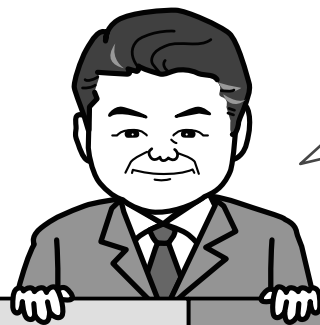
さらに、市民参加によるまちづくりをこれまで以上に進めるとともに、子供が生き生きと過ごせる取り組みにも力を入れていきます

※正式名称「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」

平成21年度一般会計予算の概要



へえ～



一般会計予算は、前年度比118億円の増加となりました。これは最優先課題である景気・経済対策に充てる費用を積極的に盛り込んだことや、福祉費用の増加などによるものです。

一般会計は5年ぶりの増額

一般会計

7,880億円 前年度比+118億円

特別会計

3,053億円

企業会計

2,648億円

福祉や教育、道路整備など、行政の基本的な事業の会計

国民健康保険、介護保険など、一般会計と区別して設置する事業の会計

地下鉄、水道など、民間企業のように利用料金などの収入で運営している会計

市税

-74億円

企業の業績悪化による法人市民税の減少により、2.6%の減

地方譲与税・地方特例交付金・道交付金 405億円

地方交付税

+32億円

市税の減少などにより、国からの交付額が増え、3.2%の増

分担金・負担金、使用料・手数料 261億円

国庫支出金

+64億円

生活保護費などの増加により、5.3%の増

歳入総額 7,880億円

市税 2,780億円

地方交付税 1,031億円

国庫支出金 1,254億円

市債 545億円

諸収入等 1,252億円

保健福祉費

+99億円

障害者自立支援などの扶助費の増加により、4.5%の増

環境費

+35億円

家庭ごみの有料化に合わせた新たな分別収集・リサイクル事業により、21.5%の増

経済費

+63億円

新たな融資制度の創設により、7.3%の増

歳出総額 7,880億円

総務費 277億円

保健福祉費 2,306億円

環境費 197億円

経済費 925億円

土木費 765億円

教育費 345億円

公債費 983億円

諸支出金 966億円

職員費 1,031億円

その他 84億円

次のページからは、具体的な取り組みを紹介します



※ 市民一人当たりの市税負担

総額 14万6,342円 前年度比 -4,195円

市民一人当たりが受けるサービス

総額 41万4,811円 前年度比 +5,397円

※平成21年1月1日現在の人口(国勢調査ベース)189万9,664人で除して算出

21年度の収支不足の解消

21年度は、支出に比べて収入が209億円不足の見込みでしたが、市役所内の仕事の仕方或使用料・手数料などの市民負担を見直すとともに、資産を活用することで170億円を解消しました。残り39億円については、市の貯金である「財政調整基金」を取り崩すことで補いました。